

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	手塚寿彦
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3781
事務事業名	6369 消防団機械力整備事業						
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署						
施 策	03021400 消防・救急体制の充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	090102 消防費・消防費・非常備消防費					
	事業	030000 消防団機械力整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
消防団車両及び資機材等の計画的な整備更新を行い、消防力の充実強化を図る				経年機能低下する消防団積載車、小型動力消防ポンプ及び資機材等の更新及び充実強化			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・積載車の更新整備 ・小型動力消防ポンプの更新整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・積載車2台の更新整備 ・小型動力消防ポンプ1台の更新整備
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・積載車2台の更新整備 ・小型動力消防ポンプ2台の更新整備 ・重量税 ¥6,600 × 2 = 13,200 ・自賠責 ¥8,570 + ¥8,910 = 17,480 ・リサイクル ¥34,000 × 2 = 68,000 	<ul style="list-style-type: none"> ・積載車2台の更新整備 ・小型動力消防ポンプ2台の更新整備
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・積載車2台の更新整備 ・小型動力消防ポンプ2台の更新整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・積載車の更新整備 ・小型動力消防ポンプの更新整備

指標名	なし					
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式	-					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		14,011	15,066
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	10,600	11,100
	その他	1,000	1,000
一般財源		2,411	2,966
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,430.0	1,430.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,430.0	1,430.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		15,441.0	16,496.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	14,011	備品購入費13,965、手数料16、保険料17、公課費13

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	15,066	備品購入費14,966、手数料68、保険料18、公課費14

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	各種災害に対応する消防力の向上が図れた	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	経年によって性能低下する車両、小型動力消防ポンプ及び資機材を高性能な最新式に更新して機械力の向上を図れた	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	コミュニティ事業助成金や緊急防災・減災事業債を活用し、有利な財源確保に努めた	

振り返り（決算年度の取組み課題）

最新型の車両、小型動力消防ポンプ及び資機材を導入更新して機械力向上が図れた
 有利な財源確保のため、助成事業や事業債に対してアンテナを張る

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
更新計画により積載車、小型動力消防ポンプを整備した。 財源確保のため、それぞれ緊急防災・減災事業債、コミュニティ助成事業を活用した。 今後もより有利な補助事業の情報収集に努めます。		・補助金等を活用し、更新計画に基づき車両及び機械器具を更新した	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	